



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東
 コード番号 9438 URL https://www.mti.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前多 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)松本 博 (TEL) 03(5333)6323
 四半期報告書提出予定日 2021年5月17日 配当支払開始予定日 2021年6月18日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	13,046	0.6	1,232	△14.8	840	△35.8	△1,416	—
2020年9月期第2四半期	12,973	△6.9	1,446	△11.5	1,310	△17.0	1,246	44.7

(注) 包括利益 2021年9月期 第2四半期 △1,131百万円(—%) 2020年9月期 第2四半期 934百万円(74.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年9月期第2四半期	円 銭 △25.92	円 銭 —
2020年9月期第2四半期	22.80	22.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年9月期第2四半期	百万円 32,639	百万円 21,977	% 54.8
2020年9月期	30,547	21,510	62.7

(参考) 自己資本 2021年9月期 第2四半期 17,870百万円 2020年9月期 19,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年9月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
2021年9月期	—	8.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△2.2	2,100	△16.2	1,600	△23.2	△1,000	—	△18.27
	~26,500	~1.6	~2,500	~△0.3	~2,000	~△4.0	~△600	—	~△10.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年9月期2Q	61,209,300株	2020年9月期	61,144,600株
2021年9月期2Q	6,485,597株	2020年9月期	6,511,616株
2021年9月期2Q	54,664,318株	2020年9月期2Q	54,647,554株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

証券アナリスト・機関投資家向けの当第2四半期決算説明会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため会場での開催を見送りますが、2021年5月13日(木)に説明会動画(オンデマンド配信)および説明会資料を当社ホームページへ掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年9月期 第2四半期の概況 (2020年10月1日～2021年3月31日)

当社グループの当四半期において、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が日本経済に大きな影響を及ぼしている状況にあります。このような中、同感染症拡大による当社グループの連結業績への影響は軽微なものであり、将来の持続的な成長に向けてコンテンツ事業およびヘルスケア事業において様々な取り組みを行いました。

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会者獲得を拡大させるとともに、コミック配信事業者向けへのオリジナルコミック作品の月間提供数を拡大させました。

ヘルスケア事業では、診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大を図るべく、また自治体向けに母子手帳アプリ等の子育て関連ソリューションの拡販を行うべく、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携を行いました。

これらのことにより、売上高は13,046百万円（前年同期比0.6%増）、売上総利益は9,627百万円（同2.0%増）となりました。

営業利益については、売上総利益が増益となりましたが、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数の拡大に向けた広告宣伝費の増加に加え、人件費や外注費の増加に伴う販売費及び一般管理費（販管費）の増加により1,232百万円（同14.8%減）となりました。

経常利益については、営業利益の減益に加え、持分法による投資損失の拡大（同250百万円増）を主因とする営業外費用の増加により840百万円（同35.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失については、経常利益の減益に加え、特別利益の減少や連結子会社である株式会社ソラミチシステムの当社保有株式の全てを連結子会社である株式会社カラダメディアに譲渡したことに伴い、その株式譲渡益に対する法人税関連の連結決算上の処理において現行の会計基準に照らし合わせ繰延税金資産および法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、△1,416百万円（前年同期は1,246百万円の利益）となりました。

連結業績

(2020年10月1日～2021年3月31日)

	2021年9月期 第2四半期	2020年9月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	13,046	12,973	+73	+0.6
売上原価	3,419	3,531	△112	△3.2
売上総利益	9,627	9,441	+185	+2.0
販管費	8,395	7,995	+400	+5.0
営業利益	1,232	1,446	△214	△14.8
経常利益	840	1,310	△469	△35.8
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△1,416	1,246	△2,663	-

販管費内訳

(2020年10月1日～2021年3月31日)

	2021年9月期 第2四半期	2020年9月期 第2四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	8,395	7,995	+400	+5.0
広告宣伝費	711	490	+220	+44.9
人件費	3,443	3,085	+357	+11.6
支払手数料	1,574	1,674	△99	△6.0
外注費	887	678	+208	+30.7
減価償却費	584	757	△172	△22.8
その他	1,193	1,308	△114	△8.7

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業には、女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』および医師相談サービス『カラダメディカ』以外のBtoC型の月額課金サービスのほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供しているオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は369万人（2020年9月末比19万人減）となりました。有料会員数の純減傾向は続いています。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の携帯ショップ経由での新規入会者獲得が好調に推移していることにより、有料会員数の純減幅は縮小傾向にあります。

売上高は、音楽配信サイト『musico』等の事業譲受けによる効果がありましたが、前年同期対比で有料会員数が減少したことにより9,639百万円（前年同期比4.3%減）となりました。営業利益については、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』向けの広告宣伝費の増加を主因に3,268百万円（同10.7%減）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額有課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、オンライン診療・オンライン服薬指導、母子手帳アプリ等）が属しています。

同事業の有料会員数は69万人（2020年9月末比2万人減）となりました。一方、診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に最注力し、2021年3月末の同店舗数は573（2020年9月末比216増）となりました。

売上高は、前年同期対比で「クラウド薬歴」の導入店舗数拡大による初期導入売上高が拡大し、1,933百万円（前年同期比6.6%増）となりました。営業利益については、先行投資費用負担が続いていますが、660百万円の損失（前年同期は764百万円の損失）となり、売上高の増加が寄与し損失額は縮小しました。

③その他事業

その他事業には、BtoB型のフィンテック事業、連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、および法人向けソリューション（システム・アプリの受託開発）事業が属しています。

AI事業および法人向けソリューション事業の売上高が拡大したことにより、売上高は2,063百万円（前年同期比34.4%増）となりました。営業利益については18百万円の損失（前年同期は144百万円の損失）となり、売上高の増加が寄与し損失額は縮小しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は32,639百万円となり、2020年9月末対比2,092百万円増加しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金の増加を主因に1,994百万円増加し、固定資産ではのれん、顧客関連資産が減少した一方、主にソフトウェアの増加により97百万円増加しました。

負債の部については、流動負債では未払法人税等の増加を主因に1,785百万円増加し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより159百万円減少しました。

純資産の部については、配当金の支払いおよび親会社株主に帰属する四半期純損失として1,416百万円を計上した一方、主に非支配株主持分が増加したことにより466百万円増加しました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は15,811百万円となり、2020年9月末対比2,457百万円の増加となりました。当第2四半期におけるキャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上や減価償却費、持分法による投資損失等により2,037百万円の資金流入（前年同期は966百万円の資金流入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産（主にソフトウェア）の取得による支出等により879百万円の資金流出（前年同期は3,886百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや長期借入金の返済による支出があった一方、非支配株主からの払込みによる収入等により1,287百万円の資金流入（前年同期は3,179百万円の資金流入）となりました。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期 第2四半期	2,037	△879	1,287	15,811
2020年9月期 第2四半期	966	△3,886	3,179	12,677
2020年9月期	3,292	△4,807	2,449	13,354

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ヘルスケア事業の売上拡大および赤字縮小に注力するとともに、コンテンツ事業では、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数のさらなる拡大およびオリジナルコミック作品提供事業の拡大に取り組んでいきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施しています。

特に診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うとともに、調剤薬局向けITソリューション企業との販売協業を進め、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、母子手帳アプリ「母子モ」が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充するとともに、「オンライン診療」・「オンライン服薬指導」の有償契約数の拡大および利用率の向上に向けた施策を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

本日発表しました「連結子会社の株式移転による中間持株会社設立等による組織再編に関するお知らせ」のとおり、株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスを7月（予定）に設立します。これにより協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携をさらに強化できる体制となり、現在同社と取り組んでいる複数のヘルスケア事業を順次集約させていく方針です。

なお、2021年9月期の通期連結業績予想については、本日発表しました「営業外費用の計上、第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異、および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益を修正しています。

2021年9月期 通期連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

	百万円	前期比
売上高	25,500 ～ 26,500	(△2.2 ～ +1.6%)
営業利益	2,100 ～ 2,500	(△16.2 ～ △0.3%)
経常利益	1,600 ～ 2,000	(△23.2 ～ △4.0%)
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△1,000 ～ △600	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,354,028	15,811,852
受取手形及び売掛金	4,840,902	4,619,908
その他	1,585,024	1,340,428
貸倒引当金	△36,222	△34,005
流動資産合計	19,743,732	21,738,185
固定資産		
有形固定資産	193,757	221,988
無形固定資産		
ソフトウェア	1,281,608	1,495,292
のれん	692,054	590,459
顧客関連資産	1,755,000	1,544,400
その他	35,437	39,624
無形固定資産合計	3,764,099	3,669,776
投資その他の資産		
投資有価証券	4,536,380	4,687,569
敷金及び保証金	493,882	475,500
繰延税金資産	1,766,869	1,777,419
その他	74,487	95,164
貸倒引当金	△25,824	△26,024
投資その他の資産合計	6,845,793	7,009,629
固定資産合計	10,803,650	10,901,394
資産合計	30,547,383	32,639,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,101,925	1,085,569
1年内返済予定の長期借入金	451,780	451,780
未払金	1,333,898	1,103,978
未払法人税等	701,022	2,490,563
ポイント引当金	110,690	116,270
その他	1,067,387	1,303,604
流動負債合計	4,766,705	6,551,766
固定負債		
長期借入金	2,881,570	2,655,680
退職給付に係る負債	1,381,767	1,447,423
その他	6,756	7,328
固定負債合計	4,270,094	4,110,431
負債合計	9,036,799	10,662,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,138,116	5,180,515
資本剰余金	6,551,222	6,643,436
利益剰余金	10,707,058	8,851,623
自己株式	△3,283,663	△3,273,933
株主資本合計	19,112,733	17,401,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,897	425,129
為替換算調整勘定	△11,666	869
退職給付に係る調整累計額	46,010	43,111
その他の包括利益累計額合計	54,241	469,110
新株予約権	345,299	215,595
非支配株主持分	1,998,309	3,891,033
純資産合計	21,510,583	21,977,381
負債純資産合計	30,547,383	32,639,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	12,973,703	13,046,903
売上原価	3,531,919	3,419,303
売上総利益	9,441,784	9,627,600
販売費及び一般管理費	7,995,122	8,395,170
営業利益	1,446,661	1,232,430
営業外収益		
受取利息	82	66
受取配当金	10,130	—
負ののれん償却額	4,069	—
為替差益	—	15,617
助成金等収入	999	28,438
自己新株予約権消却益	—	21,424
その他	17,722	26,445
営業外収益合計	33,004	91,992
営業外費用		
支払利息	298	3,619
持分法による投資損失	154,275	404,676
為替差損	9,363	—
その他	5,604	75,549
営業外費用合計	169,542	483,845
経常利益	1,310,123	840,576
特別利益		
段階取得に係る差益	272,326	—
固定資産売却益	—	3,030
投資有価証券売却益	330,464	2,934
特別利益合計	602,791	5,964
特別損失		
固定資産売却損	—	8,003
固定資産除却損	55,942	24,293
減損損失	25,302	76,949
投資有価証券評価損	—	11
特別損失合計	81,244	109,257
税金等調整前四半期純利益	1,831,670	737,283
法人税、住民税及び事業税	566,219	2,313,122
法人税等調整額	47,545	△29,355
法人税等合計	613,764	2,283,767
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,217,906	△1,546,484
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,160	△129,540
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,246,066	△1,416,943

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,217,906	△1,546,484
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257,966	361,393
為替換算調整勘定	△4,042	12,036
退職給付に係る調整額	3,141	△2,898
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,864	44,360
その他の包括利益合計	△283,731	414,891
四半期包括利益	934,174	△1,131,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	962,334	△1,002,073
非支配株主に係る四半期包括利益	△28,160	△129,518

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,831,670	737,283
減価償却費	795,962	627,388
減損損失	25,302	76,949
のれん償却額	89,148	101,595
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△11,363	5,579
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59,429	61,478
受取利息及び受取配当金	△10,213	△66
支払利息	298	3,619
持分法による投資損益(△は益)	154,275	404,676
段階取得に係る差損益(△は益)	△272,326	—
固定資産売却損益(△は益)	—	4,973
固定資産除却損	55,942	24,293
投資有価証券売却損益(△は益)	△330,464	△2,934
売上債権の増減額(△は増加)	△661,052	224,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,462	△20,233
未払金の増減額(△は減少)	△46,252	△229,681
未払消費税等の増減額(△は減少)	△96,566	245,793
その他	△116,531	268,826
小計	1,449,794	2,533,972
利息及び配当金の受取額	10,213	63
利息の支払額	△298	△3,619
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△493,622	△492,471
営業活動によるキャッシュ・フロー	966,087	2,037,944
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,375	△93,737
無形固定資産の取得による支出	△765,162	△652,924
無形固定資産の売却による収入	—	3,030
投資有価証券の取得による支出	△52,879	△8,503
投資有価証券の売却による収入	626,346	17,102
関係会社株式の取得による支出	△370,507	△131,803
事業譲受による支出	△3,242,593	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△39,382	—
その他	△3,420	△12,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,886,975	△879,649
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	4,000,000
短期借入金の返済による支出	△2,000	△4,000,000
長期借入れによる収入	3,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,140	△225,890
株式の発行による収入	—	43,665
非支配株主からの払込みによる収入	350,000	2,115,000
配当金の支払額	△438,446	△438,491
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△222,600	—
自己新株予約権の取得による支出	—	△181,550
子会社の自己株式の取得による支出	—	△25,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,179,813	1,287,733
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,873	11,796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	256,051	2,457,824
現金及び現金同等物の期首残高	12,421,560	13,354,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,677,611	15,811,852

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,011,800	1,750,506	1,211,396	12,973,703	—	12,973,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,157	62,907	324,576	452,641	△452,641	—
計	10,076,957	1,813,414	1,535,972	13,426,345	△452,641	12,973,703
セグメント利益 又は損失(△)	3,659,416	△764,093	△144,698	2,750,625	△1,303,964	1,446,661

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,303,964千円には、セグメント間取引消去10,500千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,314,464千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	25,302	—	25,302	—	25,302

(のれんの金額の重要な変動)

「コンテンツ事業」セグメントにおいて、株式会社TSUTAYAより『TSUTAYA ミュージコ♪』等の音楽配信事業を取得したことにより、当第2四半期連結累計期間にのれんが753,188千円発生しています。

また、「その他事業」セグメントにおいて、クラウドキャスト株式会社の株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第2四半期連結累計期間にのれんが621,933千円発生しています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,545,898	1,845,529	1,655,475	13,046,903	—	13,046,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	93,326	88,245	408,298	589,871	△589,871	—
計	9,639,225	1,933,775	2,063,774	13,636,774	△589,871	13,046,903
セグメント利益 又は損失(△)	3,268,534	△660,532	△18,550	2,589,451	△1,357,021	1,232,430

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,357,021千円には、セグメント間取引消去△7,283千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,349,737千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	—	76,949	76,949	—	76,949

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来経営資源の配分や業績評価を当社全体で行っていたことから「コンテンツ配信事業」を単一の報告セグメントとしていましたが、当連結会計年度より事業部・サービス区分等をもとに内部管理上の区分を見直したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「コンテンツ事業」、「ヘルスケア事業」、「その他事業」の3区分に変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生および重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(株式移転による持株会社の設立について)

当社は2021年5月12日開催の取締役会において、ヘルスケア事業領域に係る中間持株会社として「株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングス」(以下、MTI-HC-HDという)を設立し、MTI-HC-HDおよびその傘下企業間における組織再編(以下、組織再編という)を行うことを決議しました。

1. 本株式移転等による組織再編の目的

当社と株式会社メディカルホールディングスは、医療・ヘルスケア領域のICT化を普及・促進し医療・ヘルスケアプラットフォームの構築を実現することを目的に、協業を推進しています。両社での協業関係は多岐にわたっておりますが、両社の共同出資会社以外に当社または当社連結子会社のヘルスケア事業においても協業を行っている状況があり、より緊密かつ機動的に協業を推進していく観点から、中間持株会社を設立した上で両社の協業度合いの高い事業を集約させることが効果的であると判断しました。

2. 本株式移転等による組織再編の要旨

(1) 本株式移転の方法

組織再編における方法および手順は、以下の通りとなります。

- ① 連結子会社の株式会社カラダメディカ単独による株式移転により中間持株会社を設立
(株式会社カラダメディカは当社の孫会社に異動)
- ② 株式会社カラダメディカが保有(100%出資)する株式会社ソラミチシステムの普通株式全部をMTI-HC-HDに分配

(2) 本株式移転等による組織再編の日程

2021年5月12日	(株式移転計画書) 株式会社エムティーアイ 取締役会決議 株式会社カラダメディカ 取締役会決議および株主総会決議
2021年7月1日(予定)	MTI-HC-HD設立
2021年7月15日(予定)	(株式会社ソラミチシステムの株式分配) 株式会社カラダメディカ 取締役会決議および株主総会決議
2021年8月31日(予定)	株式会社カラダメディカからMTI-HC-HDに 株式会社ソラミチシステムの普通株式全部を分配

(3) 本株式移転に係る割当ての内容(株式移転比率)

会社名	MTI-HC-HD (株式移転設立完全親会社)	株式会社カラダメディカ (株式移転完全子会社)
株式移転比率	1	1

① 株式移転比率

本株式移転に際して、発行済株式の全部を取得する時点の直前時(以下「基準時」といいます。)における最終の株主名簿に記載された株式会社カラダメディカの普通株式を保有する株主に対し、その保有する同社の普通株式1株つき設立する持株会社の普通株式1株を割当交付します。

② 株式移転比率の算定根拠

本株式移転は、株式会社カラダメディカ単独の株式移転によって完全親会社である持株会社1社を設立するものであり、株式移転時の同社の株主構成と持株会社の株主構成に変化がないことから、同社の株主に不利益を与えないことを第一義として、同社株主が保有する同社の普通株式1株に対して持株会社の普通株式1株を割当交付することとしました。

③ 第三者機関による算定結果、算定方法及び算定根拠

上記②の理由により、第三者機関による株式移転比率の算定は行っていません。

④ 株式移転により交付する新株式数（予定）

普通株式 39,300株（予定）

株式会社カラダメディカの発行済株式総数 39,300株（2021年3月31日時点）に基づいて記載しています。ただし、本株式移転の効力発生に先立ち、同社の発行済株式総数が基準時までに変化した場合には、持株会社が交付する上記新株式数は変動します。

⑤ 本株式移転に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する事項

株式会社カラダメディカが発行している新株予約権については、持株会社は、同社新株予約権の新株予約権者に対し、その有する同社新株予約権に代えて同等の持株会社新株予約権を交付し、割り当てる方針です。なお、同社は新株予約権付社債を発行していません。

3. 本株式移転の当事会社の概要（2021年3月31日時点）

(1) 名称	株式会社カラダメディカ
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
(3) 代表者の氏名	代表取締役社長 菅原 誠太郎
(4) 資本金の額	3,228百万円
(5) 事業の内容	①オンライン診療・オンライン服薬指導に関するシステム提供事業 ②ヘルスケアに関するコンテンツ配信事業

4. 本株式移転により新たに設立する会社（持株会社）の概要（予定）

(1) 名称	株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングス
(2) 所在地	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
(3) 代表者の氏名	代表取締役社長 立石 優子
(4) 資本金の額	100百万円
(5) 事業の内容	①子会社の経営管理 ②その他上記の業務に付帯する業務

5. 本株式移転による会計処理の概要

本株式移転は企業会計上の「共通支配下の取引」に該当するため、損益への影響はありません。